

ドクター + 教えて

「認知症にもいろいろあり」 ～手術でよくなる認知症のご紹介～

磐田市立総合病院 脳神経外科部長 **天野 慎士**



認知症は治らない病気といわれますが、全てがそうとは言いきれません。実際、認知症の患者全体の約1割は適切な治療で症状の改善が見込めるといわれています。

しかし、発見が遅れると、たまった水や血腫によって脳が長期間圧迫されて脳細胞の損傷が進むため、手術をしても完全に症状が解消されない場合もあります。

認知症の原因にはさまざまなものがあります。その中で治療により改善が期待できるものの一つに「突発性正常圧水頭症」があります。これは脳を循環している水の流れが悪くなると、頭に水がたまる病気で、歩行障害、認知症、尿失禁などの症状が起こります。この場合は、頭にたまった水を逃がす管を入れる手術によって治療できます。

また最近では認知症の周辺症状（せん妄や徘徊など）に効果のある薬が多く開発されているため、症状をコントロールできるようになり、落ち着いた日常生活を過ごされる方も増えてきました。

認知症は「治療可能なもの」「予防が重要なもの」に分けられます。専門医療機関で治療によって治る認知症かどうかを早く見極め、適切な治療を受けていただくことが大切です。

また頭を打った数カ月後に起こる「慢性硬膜下血腫」という病気もあります。認知症、手足の動きが悪くなる、頭痛がするなどの症状が出ます。これによる認知症も簡単な手術により治療が可能です。

※せん妄：外界からの刺激に対する反応が鈍り、錯覚・妄想・麻痺などを起こす意識障害

全身の健康はお口から 歯と歯肉の健診を受けましょう

健康増進課 ☎ 37-2011

FAX 35-4586

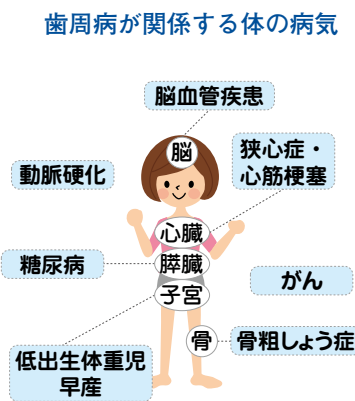
市では、歯周病予防、オーラルフレイル予防のために、歯と歯肉の健診を実施しています。

けて、定期的に歯科医院で口腔チェックや歯石除去、セルフケアの指導をしてもらいましょう。

★お口のケアで健康寿命を延ばそう

歯と口を健やかに保つことは、歯周病が関係する体の病気を予防し、虚弱予防にもつながります。

オーラルフレイルとは、介護状態につながる前の段階で「食べこぼし」「滑舌の衰え」「わずかなむせ」「噛めない食品の増加」などが現れる状態を言います。



★歯周病の予防

歯周病の予防には、毎日自分で行うケアと歯科医師などが行うプロフェッショナルケアの2つが大切です。

日常生活で歯磨きや食生活に気を付

平成30年度 歯と歯肉の健診

◆実施期間

【成人】 通年
【妊婦】 おおむね妊娠12週～27週

◆実施医療機関

市内協力歯科医院(市ホームページ・歯と歯肉の健診ページに記載)

◆対象者

40歳 (S53・4・1) S54・3・31生
50歳 (S43・4・1) S44・3・31生
60歳 (S33・4・1) S34・3・31生
70歳 (S23・4・1) S24・3・31生
妊婦 (母子健康手帳交付時に配布する「歯と歯肉の健診(妊婦)受診券」をお持ちの方)

◆受診内容

歯周病・むし歯の健診、簡単な口腔衛生指導など

◆受診費用

無料(自己負担なし)
詳しくは、成人の方は健康増進課、妊婦の方は子育て支援課(☎37-2012)へお問い合わせください。

くらしの
情報